



鯉学ニュース

NO.66 2015年12月

◆ Campus トピック: 創立 70 周年記念式典が盛大に開催!

11月28日(土)に公益財団法人農民教育協会鯉淵学園農業栄養専門学校の創立70周年記念式典、記念講演会及び祝賀会が鯉淵学園農業栄養専門学校にて開催されました。茨城県知事橋本昌様はじめ、数多くのご来賓の方々にもご参列いただき、総勢350名以上になる式典となりました。はじめに農民教育協会海老澤常務(理事長代理)が式辞を述べ、創立70周年記



近藤学園からの祝辞



茨城県知事から祝辞をいただきました。

念を迎えられた喜びと今後も学園の発展のための尽力する決意を表明致しました。近藤学園長からの挨拶では、学園のこれまでの歴史と変遷、取り組みについて報告するとともに、農と食を取り巻く環境の著しい変化や少子高齢化問題がある中、学園の果たす社会的役割が改めて強く求められていると述べられました。また、橋本昌茨城県知事、岡田広参議院議員、高橋靖水戸市長、松本広大全国農業会議所専務理事、川上好孝茨城県農業中央会副会長から祝辞を頂きました。

念を迎えられた喜びと今後も学園の発展のための尽力する決意を表明致しました。近藤学園長からの挨拶では、学園のこれまでの歴史と変遷、取り組みについて報告するとともに、農と食を取り巻く環境の著しい変化や少子高齢化問題がある中、学園の果たす社会的役割が改めて強く求められていると述べられました。また、橋本昌茨城県知事、岡田広参議院議員、高橋靖水戸市長、松本広大全国農業会議所専務理事、川上好孝茨城県農業中央会副会長から祝辞を頂きました。



多数の来賓の方々と同窓生の方々に出席いただきました

創立70周年記念事業として、学生・教職員の海外・国内研修支援事業、6次産業化教育支援事業などのほか、寄付金の募集をおこなっており、同窓生を中心として沢山のの方々から寄付を頂きました。その中の大口寄付者への感謝の意を表すべく、代表として本学23期卒である重野徳夫氏へ感謝状を贈呈しました。最後に鯉淵学園同窓会の九石裕会長の音頭による万歳三唱で締めくくり、第一部が閉会となりました。

第二部は記念講演とし、学校法人文化学園理事長で日本私立大学協会会長の大沼淳氏

(本学4期卒)による講演会が開催されました。演題は「次世代の専門学校教育に望む」で、本学園のような専門学校についてこれからの教育とはどうあるべきか、激しく変わっていく時代の流れにどう立ち向かっていくべきか、熱くご講演いただきました。貴重なエピソードを交えた講演をいただき、これからの農と食を、さらに鯉淵学園をどのように担っていくか、改めて考えることの出来た時間だったのでないでしょうか。とても意義の深い講演になりました。



大沼氏による記念講演が行われました。

第三部は鯉淵学園学生食堂で祝賀会が開催されました。提供された料理は、鯉淵学園産の農産物や加工品を使用したもので、一部は同窓生が育てた農産物なども使用されました。



学生食堂での祝賀会の様子

献立は、お赤飯のほか筑前煮、サラダ、おそば、けんちん汁など季節野菜をふんだんに使ったものでした。

会場では、ご来賓、関連企業などの一般招待客、同窓生、さらに学園関係者が料理と会話を楽しんでいました。とくに、同窓生の方々は懐かしそうに語り、歓談いただけたように見受けられました。

また祝賀会途中では、本学園の学生の実習・講義の様子などを写したスライドショーが放映され、こちらも同窓生の方々を中心に懐かしそうに観ていただけたようでした。

創立70周年記念式典、記念講演会及び祝賀会が盛大に開催され、成功致しましたことにも感謝しております。様々な方々のご支援とご協力を頂きながら今日まで歩いて来ることができました。これからも日々努力を怠らず、創立80周年、100周年と記念する日を迎えられるよう精進していきたいと思っております。

(学生募集チームリーダー 目黒周作)

◆ Campus トピック: 川崎先生が農事功績表彰を受賞しました。

11月17日、第99回農事功績表彰において、アグリビジネス科の川崎昇三教授(農業経営)が、緑白綬有功章を受章しました。川崎先生は茨城県職員であったころから、農業経営の指導・研究を続けてきました。(公社)大日本農会が実施している農事功績者表彰では、農業者・農業技術者・指導者など農業・農村の振興発展へ功績がある方が対象となっていますが、川崎先生は農業改良普及功労者として表彰されました。

(アグリビジネス科 准教授 前嶋智)

◆ Campus トピック: 第 70 回学園祭開催!

～学園創立 70 周年記念を迎える記念すべき節目～

11月1日(日)、第70回学園祭が開催されました。今年は第70回とアニバーサリーな節目の年であり、学生たちの気合いにあふれた1日になりました。

今年度も伝統ある学園祭実行員を中心に、農産物販売・模擬店・ステージイベント・収穫体験など、日頃学んでいることや好きなこと、興味のあることを活かして様々な企画を実施・運営いたしました。

「食イベント」では、地産地消の一環として学園産の食材を取り入れたメニューを準備し提供致しました。学園産の小麦粉やゴマ、トマトやキュウリ、ブルーベリーなど様々な食材が活用されました。特設ステージでは毎年恒例バター作り体験や学生サークルによるバンド演奏、来場いただいた方も参加できるビンゴ大会などで大いに盛り上がりました。また、「農イベント」ではテラー散歩やサツマイモ収穫体験など学園の特色を思う存分に活かしたイベントが開催され、こちらも盛り上がっていました。

農産物直売所『農の詩』の特別イベントも大盛況でした。人気の野菜販売や収穫体験ほか学園産のハム・ソーセージなどの販売でにぎわっていました。

今年は学園創立70周年と記念すべき年に開催された学園祭でした。学生達も準備と運営を頑張っており、無事成功することが出来ました。改めて様々な方々、特に地域の方々に支えられていることを実感できた学園祭でした。

(学園祭実行委員会委員長 前嶋智)



大勢の方に来ていただきました



ステージイベントも盛り上がりました



テラー散歩の様子



毎年恒例! 野菜の販売会



学生模擬店では行列が出来ました

◆ Campus トピック: 提携 JA との就農セミナー開催!

去る10月22日(木)に、本学学生の交流・情報交換の場を設けることにより、相互理解を深め学生の卒業後の就農の一助とすることを目として、就農セミナーを開催しました。本学園と就農協定を締結しているJA上伊那および伊那市役所(長野県)とJA中春別(北海道)、JA水戸および水戸市役所、茨城町役場の関係者の方々をお招きして午前中はJA水戸、JA中春別、JA上伊那・伊那市役所、水戸市役所、茨城町役場の順に管内の概要および就農支援対策の説明をしていただきました。JA水戸については本学園が所在する市ということもあり身近な情報として、学生は説明を聞いていました。JA中春別においては、酪農への新規就農する際にかかる設備投資資金等の大きさに驚いていました。



大勢の学生が参加しました

またJA上伊那・伊那市役所の説明では、一昨年度卒業した学生が実際に就農していることもあり、学生は自分自身のことのように説明を聞いていました。さらに、水戸市役所においては就農支援制度の説明を、茨城町役場については茨城町農業公社における支援制度の説明を聞いていました。午後からは先進経営講座が行われ、JA上伊那管内からは農業者である唐沢佑浩さん、JA水戸管内からはJA水戸アグリサポート(株)、農業者である藤川アーカーミンさんの貴重なお話を聞いた後、各ブースごとに分かれて就農相談会を実施しました。

今回の就農セミナーを通じて、学生たちは実際に第一線で活躍している農業者の方々にお会いして刺激を受けていました。農業の面白さ、大変さ、やりがい等たくさんのことを参加いただいたJA上伊那・伊那市役所、JA中春別、JA水戸、水戸市役所および茨城町役場の方々から吸収することができました。これを機会として卒業後の就農に役立てていって欲しいと思います。

今後もこのようなセミナー等を開催することによって、学園として学生の就農(就職)を全面的にサポートしていきたいと考えております。

(就職支援チームリーダー 浦田 仁)



真剣に話を聞いています

○ 発行所 ○
公益財団法人 農民教育協会
鯉淵学園農業栄養専門学校
〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町 5965
☎ 0120-831-464 FAX 029-259-6965
ウェブサイト: <http://www.koibuchi.ac.jp>
E-mail: kyoumu@mail.koibuchi.ac.jp

(お問い合わせ等は鯉淵学園のウェブサイト
やモバイルサイトからも受け付けています)



○ 編集者 ○
学生支援 G 学生募集 T (広報作業部会)